

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)	授業形式									
E112K006		体育実技 (ダンス・器械運動) (Physical Education Practice)															
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	担当教員											
必修	1	3	教育学部 平成31年度以前入学生用			氏名 田端真弓 E-mail 内線											
授業の概要	器械運動については基本的な技について学習し、発展技へ挑戦するとともに、技を組み合わせることで演技を構成し発表する。ダンスについては、ステップを理解し、リズムに合わせて踊る。さらに動きに変化をつけたり、群や構成を考えたりしながら作品を創作し表現する。																
具体的な到達目標						DP等の対応(別表参照)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
目標1 基本的な技を理解し、習得する。																	
目標2 技を組み合わせることで演技することができる。																	
目標3 イメージを即興的な動きで表現することができる。																	
目標4 テーマに合わせて作品を創作し表現することができる。																	
目標5 一連のステップをリズムに合わせて踊ることができる。																	
目標6																	
目標7																	
目標8																	
目標9																	
目標10																	
授業の内容																	
1 ダンス、器械運動の内容と各運動に関する知識																	
2 回転系(接転)の基本的な技(1)																	
3 回転系(接転)の発展技																	
4 回転系(ほん転)の基本的な技																	
5 回転系(ほん転)の発展技(1)																	
6 回転系(ほん転)の発展技(2)																	
7 巧技系および連続技																	
8 発表会																	
9 動きの要素、即興的表現																	
10 テーマに合わせた小作品作り																	
11 リズムダンスの基本的動き																	
12 リズムダンスのステップ																	
13 群と構成																	
14 動きの修整																	
15 発表会																	
ラーニング	A:知識の定着・確認	動画の撮影や他者の運動観察を通して自己の動きを修正・修整する。創作活動を通して動きやイメージの意見を出し合う。					工夫	その他の	各自のペースと完成度に応じて技・作品づくりをする。								
準備	中学校学習指導要領および解説編を読んでおく。(1h)																
学修	器械運動の技の名称を調べる。リズムダンスや創作ダンスに関する参考となる動きを調べる。(1h)																
事後	毎時の動きや作品の振り返りを行う。(1h)																
学修																	
教科書	教科書は指定しない。																
参考書	文部科学省、『器械運動指導の手引』、平成27年 文部科学省、『表現運動系及びダンス指導の手引』、平成25年																
成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10					
	ダンスの到達度	45%															
	器械運動の到達度	45%															
	小レポート	10%															
注意事項	原則として、第3体育館を使用。																
備考	運動のできる服装が必要。ただし、器械運動とダンスのそれぞれに合わせて準備すること。																
リンク																	
	URL																